

「BRAIN and NERVE」第 64 巻 総目次

2012 年 (第 1～12 号)

頁数は通巻数, ()内は号数

(特 集)

〈iPS 細胞と神経疾患〉

iPS 細胞を用いた脊髄損傷治療

……………海苔 聡・辻 収彦・岡田 洋平
戸山 芳昭・岡野 栄之・中村 雅也・ 17(1)

パーキンソン病に対する iPS 細胞技術の挑戦

……………森実 飛鳥・高橋 淳・ 29(1)

iPS 細胞と筋ジストロフィー — 筋ジストロフィーの細胞移植治療の実現化を目指して

……………西山 尚志・武田 伸一・ 39(1)

ヒト iPS 細胞の再生医療および創薬研究への応用の現状と展望

……………早川 亮夫・水口 裕之・ 47(1)

〈生物学的精神医学の進歩〉

統合失調症の生物学的研究

……………笠井 清登・吉川 茜
夏堀 龍暢・小池 進介・永井 達哉
荒木 剛・西村 幸香・岩本 和也・ 109(2)

※訂正記事あり…………… 890(8)

気分障害研究の最近の進歩

……………加藤 忠史・ 119(2)

不安障害

……………井上 猛・小山 司・ 131(2)

発達期精神障害 — 発達障害を中心に

……………久島 周・岡田 俊・尾崎 紀夫・ 139(2)

認知症 — AD-FTD スペクトラムを中心に

……………武田 雅俊・ 149(2)

アルコール・物質依存

……………土田 英人・西村伊三男・福居 顯二・ 163(2)

〈アカデミアから新規治療の実現へ — トランスレーショナルリサーチの現状〉

序 — アカデミア発の新規治療開発の展望

……………祖父江 元・ 221(3)

急がば回れ — 臨床研究医の厚い層の育成は、将来の創薬研究を支える

……………福原 俊一・佐久嶋 研・西村 正治・ 225(3)

神経疾患における創薬研究・開発展望

……………中村 治雅・宇山 佳明・ 229(3)

球脊髄性筋萎縮症の病態抑止治療 — リュープロレリン酢酸塩

……………鈴木 啓介・坂野 晴彦・勝野 雅央

足立 弘明・田中 章景・祖父江 元・ 237(3)

筋萎縮性側索硬化症に対する HGF 治療

……………青木 正志・ 245(3)

縁取り空胞を伴う遠位型ミオパチーのシアル酸補充療法

……………西野 一三・野口 悟・ 255(3)

〈パーキンソン病の新しい側面〉

序……………平田 幸一・ 317(4)

パーキンソン病における認知機能障害

……………阿部 修士・森 悦朗・ 321(4)

パーキンソン病におけるうつと不安

……………加治 芳明・平田 幸一・ 332(4)

パーキンソン病の睡眠障害

……………鈴木 圭輔・宮本 雅之・宮本 智之

岩波 正興・作田 英樹・平田 幸一・ 342(4)

パーキンソン病とレム睡眠行動異常症の嗅覚障害

……………宮本 智之・ 356(4)

パーキンソン病の痛みと感覚異常

……………吉井 文均・ 364(4)

パーキンソン病治療に伴う脱抑制性の行動異常

……………藤本 健一・ 373(4)

パーキンソン病患者における fatigue と体重減少

……………大熊 泰之・ 384(4)

パーキンソン病の自律神経症状

……………山元 敏正・田村 直俊・ 394(4)

パーキンソン病における MIBG 心筋シンチグラフィの意義

……………織茂 智之・ 403(4)

パーキンソン病と中脳エコーの変化

……………井澤 (大川) 眞沙江・三輪 英人・ 413(4)

パーキンソン病と脳機能画像

……………馬場 徹・武田 篤・ 423(4)

パーキンソン病における脳波・事象関連電位による解析

……………亀井 聡・ 433(4)

Braak 仮説と非運動症状

……………齊藤 祐子・村山 繁雄・ 444(4)

非運動症状早期発見は早期治療につながるか?

……………長谷川一子・ 453(4)

〈神経疾患のバイオマーカー〉

アルツハイマー病のバイオマーカー — ADNI 以後

レヴィ小体型認知症の脳脊髄液・血液バイオマーカー	東海林幹夫・497(5)
筋萎縮性側索硬化症のバイオマーカー	春日 健作・池内 健・505(5)
視神経脊髄炎のバイオマーカー	徳田 隆彦・515(5)
神経膠腫の遺伝子異常とバイオマーカー	三須 建郎 高橋 利幸・中島 一郎・藤原 一男・525(5)
	永根 基雄・537(5)
〈睡眠と覚醒の脳内機構〉	
モノアミン・コリン作動性システムを中心とした睡眠・覚醒の制御	小山 純正・601(6)
睡眠の脳機能画像解析研究	佐々木由香・611(6)
プロスタグランジンD ₂ とアデノシンによる睡眠調節	永田奈々恵・裏出 良博・621(6)
視床下部に局在する神経ペプチドと睡眠・覚醒	桜井 武・629(6)
体内時計と睡眠	本間 研一・639(6)
睡眠・覚醒・摂食行動の概日リズム制御	中村 渉・647(6)
〈顔認知の脳内機構〉	
序——特集の目的	柿木 隆介・715(7)
事象関連電位を用いた顔認知機構の解明	飛松 省三・717(7)
脳磁図を用いた顔認知機構の解明	三木 研作・柿木 隆介・727(7)
顔認知の脳内メカニズム——上側頭溝の機能を中心として	飯高 哲也・737(7)
顔の記憶とその脳内機構	月浦 崇・743(7)
自己顔認知の神経基盤——その社会性について	杉浦 元亮・753(7)
乳児の顔処理における脳活動	市川 寛子・山口 真美・761(7)
顔と音声の感覚融合としての腹話術効果	横澤 一彦・金谷 翔子・771(7)
顔の錯視のレビュー	北岡 明佳・779(7)
顔の比較認知科学	川合 伸幸・793(7)
神経内科疾患と顔認知	河村 満 杉本あずさ・小早川睦貴・鶴谷奈津子・799(7)
統合失調症の顔認知	土居 裕和・篠原 一之・815(7)
自閉症スペクトラム障害の顔認知	北 洋輔・稲垣 真澄・821(7)
サル下側頭葉視覚連合野における機能の階層構造と顔の表現	佐藤多加之・831(7)
サル前部下側頭皮質における顔のアイデンティティと意味の	

表現	永福 智志・841(7)
〈線条体の基礎と臨床〉	
大脳皮質-線条体の神経回路	高田 昌彦・871(8)
光遺伝学を用いた線条体神経回路網研究	中馬 奈保・881(8)
線条体と前頭前野における価値の表象	坂上 雅道・山本 愛実・891(8)
線条体操作から強迫性障害を理解できるか	田中 謙二・903(8)
線条体と依存症	戸田 重誠・911(8)
うつ病における線条体機能変容の役割	古屋敷智之・出口 雄一・919(8)
〈高次脳機能イメージングの脳科学への新展開〉	
皮質-皮質間誘発電位を用いたヒト大脳皮質間結合の探索	松本 理器・國枝 武治・池田 昭夫・979(9)
皮質電気刺激——言語野の同定	鈴木 匡子・993(9)
脳皮質電位と機能的MRIによる言語・記憶機能ダイナミクス	鎌田 恭輔・國井 尚人・広島 寛 太田 貴裕・川合 謙介・斉藤 延人・1001(9)
てんかん外科治療における高次脳機能イメージングの役割	川合 謙介・1013(9)
近赤外分光脳機能計測の現状と展望——臨床応用研究, 認知神経科学からの知見	皆川 泰代・1023(9)
〈辺縁系をめぐる〉	
対談 辺縁系をめぐる——前編	福武 敏夫・河村 満・1091(10)
行動選択障害の神経内科学——懲りないパーキンソンと恐れ知らずのデメンチア	岩田 誠・1097(10)
島の情動機能	鈴木 敦命・1103(10)
情動, 扁桃核と自律神経系	上山 敬司・1113(10)
前頭葉眼窩部とモラル	船山 道隆・三村 将・1121(10)
対談 辺縁系をめぐる——後編	福武 敏夫・河村 満・1131(10)
〈痛みの神経学——末梢神経から脳まで〉	
生理学的痛みの末梢機構	國本 雅也・1205(11)
痛みの伝導路	乾 幸二・1215(11)
痛みの病理学——表皮無髄線維の病態	富山 誠彦・八木橋操六・1225(11)
末梢神経損傷による神経障害性疼痛とグリア	井上 和秀・津田 誠・齊藤 秀俊・1233(11)
痛みによる情動変化の脳内メカニズム	南 雅文・1241(11)
神経障害性疼痛の病態——末梢Na ⁺ チャネルの観点から	三澤 園子・1249(11)
神経障害性疼痛の病態——脊髄後角の分子メカニズム	

……………山中 博樹・野口 光一・1255(11)	神経障害性疼痛の中枢性機序——脳機能画像
……………平野 成樹・1267(11)	痛みの問診のポイント…野田 和敬・生坂 政臣・1273(11)
……………住谷 昌彦・宮内 哲・山田 芳嗣・1279(11)	神経障害性疼痛に対する薬物療法と鏡療法
……………井上 真輔・牛田 享宏・井上 雅之・1287(11)	運動器慢性痛の病態と学際的治療
……………西山 隆久・大瀬戸清茂・1299(11)	神経障害性疼痛の痛みに対する神経ブロックの実際
……………後藤 真一・平 孝臣・1307(11)	神経障害性疼痛の外科的治療——神経刺激療法を中心に
……………橋爪 圭司・1315(11)	ペインクリニックからみた慢性痛…橋爪 圭司・1315(11)
……………西原 真理・1323(11)	精神医学からみた慢性の痛み…西原 真理・1323(11)
……………和田 健二・中島 健二・1365(12)	〈The Border-Land of Dementia〉
……………富本 秀和・1377(12)	パーキンソン病における軽度認知障害
……………三村 将・1387(12)	血管性認知障害——高血圧性脳小血管病とアミロイド血管症をめぐって…富本 秀和・1377(12)
……………河村 満・1399(12)	抑うつと認知症
……………山田 正仁・1405(12)	てんかんと認知症
……………矢野 昭子・吉村 公雄・三村 将・1387(12)	薬剤による認知機能障害
……………矢野 昭子・吉村 公雄・三村 将・1387(12)	（総説）
……………清水 利彦・鈴木 則宏・59(1)	片頭痛病態研究の展開と新たな治療への展望
……………矢野 昭子・吉村 公雄・三村 将・1387(12)	自閉症スペクトラムとシナプス蛋白質のアンバランス
……………矢野 昭子・吉村 公雄・三村 将・1387(12)	心理現象・精神症状の脳機能と近赤外線スペクトロスコピー（NIRS）…福田 正人・175(2)
……………矢野 昭子・吉村 公雄・三村 将・1387(12)	脳の中のナビゲーションシステム…泰羅 雅登・263(3)
……………矢野 昭子・吉村 公雄・三村 将・1387(12)	ALS の炎症機序
……………矢野 昭子・吉村 公雄・三村 将・1387(12)	遺伝性パーキンソン病におけるミトコンドリアオートファジー（マイトファジー）の役割
……………矢野 昭子・吉村 公雄・三村 将・1387(12)	脳腫瘍全国集計調査報告に基づく脳腫瘍統計の現状と動向
……………矢野 昭子・吉村 公雄・三村 将・1387(12)	Corticobasal syndrome——最近の進歩と今後の課題
……………矢野 昭子・吉村 公雄・三村 将・1387(12)	RNA editing 活性低下と TDP-43 病理——孤発性 ALS 運動ニューロンにおける疾患特異的両分子異常の分子連鎖
……………矢野 昭子・吉村 公雄・三村 将・1387(12)	

……………菅野 洋・557(5)	家族性脳腫瘍の基礎と臨床…菅野 洋・557(5)
……………濱崎 浩子・657(6)	インプリンティング（刷込み記憶）の神経科学
……………吉田 邦広・樋口 京一・池田 修一・665(6)	神経変性疾患は個体間伝播するか？——アミロイドーシス・モデルからの推論
……………長谷川成人・675(6)	※訂正記事あり…726(7)
……………有田 秀穂・929(8)	神経変性疾患は「蛋白癌」か？…長谷川成人・675(6)
……………阿部 康二・池田 佳生・937(8)	自殺の神経科学…有田 秀穂・929(8)
……………羽生 春夫・1047(9)	SCA36（別名 Asidan）
……………佐々木真理・工藤 興亮	混合型認知症の診断と治療…羽生 春夫・1047(9)
……………上野 育子・梶沢 宏之・松田 豪・1057(9)	7 テスラ MRI による脳神経画像診断の新しい展開
……………市川弥生子・1141(10)	多系統萎縮症——臨床試験に向けての現状と課題
……………岡嶋 馨・太田 善夫・1151(10)	脳腫瘍の画像診断と病理——悪性神経膠腫における症状・画像・病理組織の多様性
……………小笠原一能・尾崎 紀夫・1159(10)	2012 年 7 月公表の日本うつ病学会うつ病治療ガイドライン——作成の経緯と、概要、そして今後の方向性
……………伊佐 正・1331(11)	皮膚脊髄路と運動制御…伊佐 正・1331(11)
……………平野 成樹・島田 斉・吉山 容正・1411(12)	糖尿病と脳画像研究——アルツハイマー病発症機序との関連を考える
……………新野 正明・1421(12)	多発性硬化症の新規治療薬——フィンゴリモドと有望治療薬に焦点をあてて…新野 正明・1421(12)
	（原 著）
……………小野健一郎・有本 裕彦・城谷 寿樹・185(2)	血小板 ADP 凝集能亢進と無症候性脳梗塞の相関に関する検討…小野健一郎・有本 裕彦・城谷 寿樹・185(2)
……………森岡 隆人・佐山 徹郎・下川 能史	難治てんかんに対する迷走神経刺激療法導入 1 年後の状況——九州労災病院と全国における状況
……………濱村 威・橋口 公章・川合 謙介	
……………迎 伸孝・村上 信哉・佐々木富男・681(6)	
……………山添 知宏	新規抗てんかん薬レベチラセタムの臨床効果——部分てんかん患者に対する有効性検証…山添 知宏
……………藤本 礼尚・山崎まどか・横田 卓也	
……………岡西 徹・内山 剛・大橋 寿彦	
……………田中篤太郎・榎 日出夫・山本 貴道・1169(10)	
……………田口 芳治	富山県内の精神科医における抗 NMDA 受容体脳炎の認知度調査…田口 芳治
……………高嶋修太郎・鈴木 道雄・田中耕太郎・1341(11)	

(症例報告)

両側視床病変が遅発性に出現した悪性リンパ腫関連傍腫瘍性
辺縁系脳炎の1例……金光 宗一・上野 弘貴

内藤かさね・関根 真悠・大下 智彦

中村 毅・山脇 健盛・松本 昌泰・ 71(1)

Tissue-plasminogen activator 使用後脳浮腫が1ヵ月以上遷
延した脳梗塞の1例

……秋山 真美・小関 宏和・大淵 英徳

萩原 信司・谷 茂・田中 典子

藤林真理子・久保 長生・糟谷 英俊・ 79(1)

大脳基底核部 slowly progressive expanding hematoma の
3例報告と文献的考察

……富士井 睦・高田 義章

大野喜久郎・穂苅 充彦・新井 俊成・ 295(3)

外傷後2次性全般化発作, うつ症状に対する多剤投与患者へ
のレベチラセタムの使用経験

……林 拓郎・井上 幸治・篠田 純・ 303(3)

多発性脳転移をきたした後腹膜平滑筋肉腫の1症例

……川原 一郎

藤本 隆史・小野 智憲・高島 英昭

戸田 啓介・堤 圭介・馬場 啓至

米倉 正大・伊藤 正博・森 勝春・ 565(5)

孤発性 *Actinomyces* 脳膿瘍の66歳女性例

……高橋 潔・長谷川義仁

西本 陽央・林 悟・山崎 正博

葛目 大輔・橋本 恵子・円山 英昭・ 689(6)

初発症状に幻聴を含む前頭側頭型認知症 (frontotemporal
dementia: FTD) の1例

……岩橋 麻希・根津 陽子・今村 徹・ 697(6)

特発性低髄液圧症候群に合併し短期間で器質化した慢性硬膜
下血腫の1例……須山 武裕

祖母井 龍・乾 敏彦・富永 紳介・ 855(7)

非流暢性失語で発症し, 左右対称性の脳変性所見を呈した
大脳皮質基底核変性症剖検例

……石原 健司・三村 将・石垣征一郎

塩田 純一・中野 今治・河村 満・ 943(8)

30年にわたる頻回の再発により激しい脊髄萎縮をきたした
胸腺摘出後視神経脊髄炎の1例

……廣西 昌也・石本 進士・澤西 正

三輪 英人・河内 泉・近藤 智善・ 951(8)

89歳高齢発症の単純ヘルペス脳炎 — アシクロビル投与で
寛解したが, 2ヵ月後再発し死亡した1例

……鈴木 馨・庄司 紘史・本藤 良・1063(9)

痙攣重積後に一側大脳皮質の広範な萎縮と選択的神経細胞壊
死を呈したレビー小体型認知症の1剖検例

……岩崎 靖・森 恵子

伊藤 益美・三室 マヤ・吉田 眞理・1069(9)

左房粘液腫による心原性脳塞栓症の1例

……畑山さや香・緒方 利安・大川 将和

東 登志夫・井上 亨・高野 浩一

峰松 紀年・田代 忠・坂田 則行・1175(10)

中枢神経系原発悪性リンパ腫における髄液中 IL-10 濃度の診
断的意義に関する一考察……三嶋 崇靖

坪井 義夫・榎本 年孝・樋口 正晃

津川 潤・山田 達夫・田中 俊裕

継 仁・林 博之・鍋島 一樹・1347(11)

頭部外傷により下肢純粋運動性単麻痺をきたした1例

……安藤 和弘・丸屋 淳

金丸 優・西巻 啓一・皆河 崇志・1427(12)

(神経画像アトラス)

ステロイド療法が奏功した中枢神経原発リンパ腫様肉芽腫症
の1例……島田さやか

上野 弘貴・山崎 文之・杉山 一彦

安富 浩子・関根 真悠・大下 智彦

倉重 毅志・中村 毅・西原 広史

山脇 健盛・栗栖 薫・松本 昌泰・ 85(1)

Non-bifurcating cervical carotid artery の1例

……遠藤 英樹・大熊 理弘

高田 英和・北條 敦史・岡 亨治

村上 宣人・相本 康晴・光増 智

関口 雅・武田利兵衛・中村 博彦・ 486(4)

内包前脚に虚血性病変を認めた糖尿病性舞踏病の1例

……中嶋 浩二

中條 敬人・加藤 晶人・河面 倫有

今泉 陽一・清水 裕樹・杉江 正行

村上 秀友・市川 博雄・泉山 仁・ 570(5)

大脳のびまん性血流低下を示した小脳性無言症の1例

……山崎 文之・渡邊 陽祐・高安 武志

野坂 亮・梶原 佳則・花谷 亮典

富永 篤・杉山 一彦・栗栖 薫・1431(12)

(Neurological CPC)

起炎菌不明の髄膜炎治療中に, 急性多臓器不全を併発し死亡
した65歳男性例

……藤ヶ崎浩人・大橋 健一・藤ヶ崎純子・ 89(1)

急性の精神病様症状で発症し, 痙攣重積を繰り返した16歳
女性例……平井 利明・福田 隆浩・鈴木 正彦・ 201(2)

臨床的にレビー小体型認知症が疑われ, α シヌクレイン沈着
を認めなかった87歳女性例 ……融 衆太

市原 和明・内原 俊記・織茂 智之・ 573(5)

ALS の経過中に認知症症状を認めた78歳女性剖検例

……………石原 健司・中野 今治・鈴木 正彦・ 956(8)
経過7年で進行性のパーキンソニズム, 発語障害を呈した
74歳男性 ……………田久保秀樹

本間 琢・内原 俊記・河村 満・1181(10)
薬剤性パーキンソン症状との鑑別が問題となった軽度認知障
害の87歳男性 ……………神谷 久雄・村山 繁雄
舟邊さやか・齊藤 祐子・福田 隆浩・1435(12)

(学会印象記)

Alzheimer's Association International Conference on Alz-
heimer's Disease 2011

……………富所 康志・玉岡 晃・ 99(1)
2011 International Neuropsychological Society Mid-year
Meeting ……………緑川 晶・ 210(2)
15th International Congress of Parkinson's Disease and
Movement Disorders ……………宮本 亮介・ 583(5)
第20回世界神経学会議(WCN2011)

……………高橋 良輔・ 585(5)
16th International Congress of Parkinson's Disease and
Movement Disorders ……………宇川 義一・1080(9)
Peripheral Nerve Society / Inflammatory Neuropathy
Consortium 2012 ……………海田 賢一・1192(10)
8th Federation of European Neuroscience Societies Forum
of Neuroscience ……………一戸 紀孝・1352(11)
The 8th International Conference on Frontotemporal
Dementias (FTD2012) ……………緑川 晶・1450(12)

(連載 神経学を作った100冊)

(61)『ジョン・ヒューリングス・ジャクソン選集』(1931~
1932) ……………作田 学・ 100(1)
(62)ガワーズ『脊髄疾患の診断』(1880)
……………作田 学・ 212(2)
(63)ガワーズ『神経系疾患の手引書』(1886, 1888)
……………作田 学・ 308(3)
(64)ガワーズ『てんかんと, 他の慢性痙攣性疾患』(1881)
……………作田 学・ 488(4)
(65)ガワーズ『神経系疾患の臨床講義』(1895)
……………作田 学・ 592(5)

(66)エルプ『脳神経と脊髄神経疾患 第2版』(1876)
……………作田 学・ 704(6)
(67)ウェルニッケ『医師と学生のための脳疾患教科書』(1881-
1883) ……………作田 学・ 862(7)
(68)マリ―『脊髄疾患講義録』(1892)
……………作田 学・ 970(8)
(69)フルニエ『梅毒に起因する脊髄癆』(1882)
……………作田 学・1082(9)
(70)デジュリーヌ『中枢神経系の解剖学』(1895, 1901)
……………作田 学・1194(10)
(71)デジュリーヌ『神経疾患症候学』(1914)
……………作田 学・1354(11)
(72)バビンスキー『科学業績集』(1913)
……………作田 学・1452(12)

(このヒトに聞く)

電気生理学の頂から神経内科を想う
……………木村 淳・中野 今治・ 191(2)

(座談会)

BRAIN and NERVE の未来……………河村 満
神田 隆・桑原 聡・酒井 邦嘉
泰羅 雅登・三村 将・森 啓・ 7(1)

(特別鼎談)

100年目のレヴィ小体研究
……………河村 満・中野 今治・水野 美邦・ 474(4)
ウィルソン病100年
……………神田 隆・児玉 浩子・廣瀬源二郎・1035(9)

(ポートレイト)

マーク・ジャンヌロー——手の動きの解析から, 心の生理学
へ……………浜田 隆史・イブ・ロゼッティ・ 965(8)
サロモン・ハキム——正常圧水頭症への功績
……………稲富雄一郎・1075(9)
チャールズ・ミラー・フィッシャー——偉大な「1人の医
師」……………福武 敏夫・1443(12)

(追悼)

萬年 甫先生を偲ぶ……………和氣健二郎・ 587(5)
萬年 甫先生の思い出……………神田 隆・ 591(5)